

第5節 4日目：4月30日（火）：新八代～有佐、新八代～八代 たのうら御立岬公園～肥後二見 雨

本日は雨なので、当初の予定（阿久根～津奈木）を大幅に変更する。兎に角、新八代まで移動する方針に変更する。その関係で費用と時間は大幅にロストする。



雨の中の川内駅と東横イン

ホテルの朝食は6時半からだったので、色々助かった。ホテルを7時半頃出る。7時59分の電車で、新八代駅まで移動することにした。新八代まで2,710円要する。植田さんという係員の方に、カッシー館をPRする。車内は熊で飾られていた。電車は出水（いずみ）までは2両編成、そこから後ろの車両を切り離す。出水駅、佐敷駅、日奈久温泉駅で数分停車する。出水駅でおれんじ鉄道の道筋をお伺いする。若い乗務員と年配の乗務員がいた。停止時間を利用し、親切にも色々助言頂く。この若い乗務員と出水駅の食堂車両前で顔を合わせる。また、この乗務員から「鉄道にはこんな楽しみ方もあるのか」と。この言葉が強く印象に残る。出水から八代にかけて、風光明媚な海岸線が続く。



肥薩おれんじ鉄道川内駅



今回の旅のガイドブック



夢が一杯の車内



八代駅

八代駅には、10時50分到着。ホームを移動する。誤って1両の人吉行の電車に乗ろうとする。八代駅で20分位待ち時間あり。駅から2本の煙突の煙が印象的であった。八代11時11分のJR線で新八代駅（11時15分着）へ。駅前の東横イン新八代駅に11時20分頃荷物を預ける。身軽な格好でホテルを出る。



新八代駅

八代茶屋

駅構内の八代茶屋でごぼううどん（450円）を注文する。新八代駅を11時30分出発する。しかし、八代ではなく熊本方面に進んでいた。12時3分電車と対面する。全く逆の方向に進んでいることに気づかず。山を写真に収める。12時8分、第二吉王丸踏切を渡ろうとするが、渡らず。12時27分、大牟田踏切を横切る。鉄道の左側に出る。井草がこの辺り沢山あった。麗川踏切を13時10分横切り、鉄道の右側へ。



誤った方向に進む



有佐駅

竹原宮

誤った有佐駅には13時16分到着。駅前に八代に比べ活気がないと思ったら、有佐駅だった。ここで誤りに気付く。それにしても、途中の千丁駅には全く気付かず。非常に不思議な出来事であった。ここから、タクシーを拾い、新八代まで再度向かう。運賃は1,680円要する。新八代駅に13時30分、到着。運転手に八代駅までの概略図をもらう。13時46分、第二中学校前を通過。13時48分、八代市名木がある竹原宮前を通過。14時、八代駅の象徴である日本の煙突の正体である日本製紙（株）八代工場正門前を通過。14時6分、十条踏切を横切る。八代駅には14時11分到着。



日本製紙

八代駅

八代駅14時16分の電車（運賃770円）でたのうら御立岬公園駅まで移動。この駅には14時44分到着。雨の影響もあり、駅を降りるや上田浦方面の道筋が定まらず。国道3号線を通って、上田浦駅をカットし、肥後二見駅に行くコースが一番手堅いがこれでは私の”

こだわり鉄道つたい歩き”は実現できない。3号線（15時11分八幡橋通過、15時13分熊本63kmの表示あり）に出ていたが、ジョギングをして引き返す。



八代駅 たのうら御立岬公園駅



駅前の地図

国道3号線

何人にも聞いて海岸線に沿って歩くコースを選択する。しかし、この道は非常に遠回りで激しい山登りをするコースであった。15時40分、日浦町黒崎を通過。山道を上り、たのうら御立岬公園を散策する。再度下りに入る。16時30分、杉迫漁港を通過。ここから上田浦続くと思ったら再度山が現れる。200m位の山を傘をさし駆け上る。



日浦町黒崎

たのうら御立岬公園



杉迫漁港



下に杉迫漁港



迷った分岐点



上田浦駅

16時45分、県道254線にぶつかる。左に進むか右に進むか思案する。そこに、車がきて、八代方面はと聞いたところ、左側と助言を頂く。5分位歩いて、山また山が続く光景なので、確認を得ようと思うが車来ず。雨だし、夕方だし急遽方向転換し、引き返す。すなわち、交差点から右に進むことにする。10分位歩くと山間から何となく見たことがある風景が一望できる。再度、たのうら御立岬公園駅に到着となる。この辺りは岬なので、2時間半を要し1周したのであろうと自問自答する。運よく、17時16分の八代行の電車(運賃230円)に間に合う。上田浦駅には17時22分到着(たのうら御立岬公園～上田浦は結果的に乗り鉄対応となる)。18時12分、第3舟澤を横切る。18時20分、101歩ある船津橋を横切る。



肥後二見駅

肥後二見駅には18時24分到着。風が強くなったのでここでアップすることにする。後で考えるといい英断であった。肥後二見駅18時33分の電車(運賃520円)で八代、新八代

に向かう。電車が雨等の影響で 4 分位おくれているとの情報が構内放送であり。駅にはお孫のために定期を届けに来たという祖母がいた。この人と待ち時間を利用して世間話をする。ホームは上り下り共通であった。誤ったホームにいたので、急遽駆け上る。何とか間に合う。新八代駅には 19 時 18 分到着。駅の売店で明日の朝食、明日の夕食（カップラーメン）等を購入（728 円）する。ホテルには 19 時 40 分頃到着。チェックイン（509 号室？）する。まだサービスのカレーがあるとのことなので夕食として頂く。本日は酒をあける。本日の営業キロは、17.2 km、万歩計は 44,895 歩に達する。本日は 2 度の失敗があったが、いい勉強をさせてもらった。ウォーキングの醍醐味をひしひしと感ずる一日となった。

第 6 節 5 日目：5 月 1 日（水）：阿久根～新水俣 晴れ

本日は、東横イン新八代で朝食を摂らずに、出かける。5 時 47 分の電車は新八代からの出発であった。急遽、5 時 20 分頃気づき、昭和タクシーで八代駅に駆けつける、5 時 38 分到着。



早朝の八代駅

JR 窓口で明日のコインロッカーの件で聞いているうちに、時間を失念し、5 時 57 分と錯覚する。きっぷを購入（2,040 円）して乗ろうとした瞬間、5 時 47 分の電車は 1 秒差で非情にも発車する。頭の中が真っ白となる。おまけに、ショックのあまり、先程購入したきっぷが見当たらず。何度も探すが発見できず。ひょっとしたら、ホームにロストしているのではないかと思い探しに行く。案の定探していたきっぷが乗り遅れた地点に落ちていた。リカバリーに 10 分位要する。半分安堵する。6 時頃であった。それから、これからの策を考える。



これぞウォーキングの醍醐味



急遽、八代＝肥後二見間を思いつき、肥後高田に向けて歩こうと考える。
踏切を 6 時 5 分横切る。6 時 15 分日の出と遭遇する。102 歩ある橋を渡る。6 時 19 分、産交バスの追分バス停を通過。6 時 39 分、八代港線跡前を通過。その先の新八代、熊本、宇土の地名が出て来るので反対の方向に來たと気づく。6 時 45 分頃だった。そして、肥後高田へのリカバリー方法をコンビニの店員の方に教えて頂く。兎に角先程の国道の分岐点まで戻らなければならない。このでも頭の中が真っ白になる。走りながら、急遽、八代駅に戻り、7 時 13 分の電車で阿久根まで行く方法に方針変更で固まる。ジョギングでこれまで來た路を戻る。運よく、残像が残っていた。



日々帰りきっぷ

八代駅には、7 時 3 分到着。おれんじ職員 2 名が駅の掃除をしていた。おれんじ職員の方に“一日日帰りきっぷ”について教わる。2,280 円で一日乗り放題とのことであった。差額の 760 円を支払い新きっぷに切り替えてもらう。8 時 21 分、電車の中で、“一日日帰りき

つぶ”と“カッシー館／歩きのサイト”を背景に写真を撮る。8時35分、出水駅停車の2両編成“おれんじ食堂”車（ブルートレイン）と対面する。昨日、電車の中でお世話になった職員がこの電車の乗務員として乗っていた。ブルーの服装であった。挨拶を交わす。



阿久根駅には9時8分到着。阿久根駅は鹿がいるアングルから撮る。駅前にはJR時代の電車がおいてあった。



阿久根駅

9時17分、門司から310km地点に到達。9時20分、阿久根踏切を横切る。鉄道に沿った道をドライバーの方に教えて頂く。「次の信号の左折する路」とのことであった。9時40分、遠くに鉄道の線路を発見し、安堵する。この近郊でペンをロストする。真っ直ぐ進む。9時52分、すぐ近くに踏切を見つける。この道が間違っていないことの確認を得る。9時45分、左下に鉄道の線路あり。9時58分、“潮音の丘”という手打ちそば・地鶏炭火焼きの店が丘の上にあった。9時59分、県道365号線（脇本赤瀬川線）があった。10時23分、阿久根市折口を通過。10時24分、牟田踏切を横切る。鉄道の左側を歩く。10時29分、折口東公民館前を通過。



折口駅

10 時 33 分、本日最初の折口駅に到着。10 時 37 分、鉄道下を潜る。鉄道の右側を歩く。10 時 41 分、グリーン陸橋を渡る。10 時 50 分、多田という交差点を通過。10 時 45 分、南国バス筒田前のりばを通過。10 時 55 分、門司から 304 k m 地点を通過。11 時 17 分、鉄道下にして横切る。鉄道の左側を歩く。11 時 20 分、餅井バス停前を通過。11 時 39 分、鉄道下にして横切る。鉄道の右側へ。11 時 50 分、野田郷駅に到着。



野田郷駅

12 時 2 分、アイ SHOP みやもとでボールペンを購入。12 時 16 分、90 歩ある野田橋（野田川）を横切る。12 時 39 分、並木団地前バス停で上着を脱ぐ。12 時 56 分、駅前ソテツが印象的な高尾野駅に到着。



並木団地前バス停 高尾野駅

13 時、高尾野公民館前を通過。特別天然記念物“荒崎の「ツル」“や県指定無形民俗文化財”高尾野町の「兵六踊り」“があった。13 時 15 分、温泉センター前バス停で大事なメモ帳をロストしそうになるが、3 分位先のやぶさ橋（高尾野川：141 歩）で気づく。14 時 3 分、西出水駅に到着。



高尾野川



西出水駅

14 時 28 分、古市踏切を横切る。14 時 39 分、204 歩ある春日橋（米之津川）を横切る。14 時 49 分、出水駅にやっと到着。



出水駅

この駅が意外にややこしいので驚いた。駅前にはツルの像があった。新幹線停車駅でもあるので、駅舎は大きかった。15 時 20 分、釜揚げうどんの丸亀製麺で遅い昼食（450 円）を摂る。ここで 15 分位休憩する。15 時 38 分、少し肌寒く感じかけたので、六月田上で上着を着る。風が強まる。15 時 47 分、ヤマダ電機前を通過。15 時 58 分、56 歩ある高柳川橋を渡る。16 時 14 分、酔会社踏切を横切る。16 時 18 分、出水市立米ノ津東小学校看板前を通過。米ノ津駅には、16 時 19 分到着。



丸亀製麺



米ノ津駅

丁度ふれあいバスがやって来る。16 時 24 分、坪坂踏切を横切り、鉄道の左側を歩く。17 時 11 分、西前田バス停前を通過。17 時 20 分、赤い鳥居の金比羅宮があった。その先に前田バス停があった。近くに切通小学校があった、沢山の絵画が塀に沿って掛けられていた。熊本 99 k m、八代 59 k m、水俣 9 k m の道路標識辺りで、鹿児島県と熊本県の県境がある。17 時 48 分、南国交通袋駅前のにりばに到着。この近郊におれんじ鉄道の袋駅があったのであろう。残念ながら、この駅はロストする。



袋駅への路



切通小学校



熊本県へ

袋駅前バス停

17時54分、鉄道を頭上に迎える。この鉄道から左側に歩くことになるのであるが、逆に考える。ロストしてもやむを得ない。二人の通行人にお尋ねして、袋駅をロストしたことに気付く。18時26分、前方の例の食堂車が川内方面に走っていた。18時32分、前方に水俣の街並みと水俣港が見えて来る。そして、橋を見えて来る。18時57分、門司から280km地点に到達。19時3分、水俣駅に到着。



水俣駅への路



水俣駅



新水俣駅

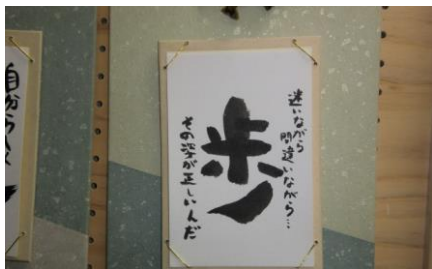
19時25分、158歩ある新水俣橋（水俣川）を渡る。19時57分、新水俣駅に到着する。
19時52分の電車が数分前に出たばかり。予定の行動であるが、次の電車は20時48分で

あった。待ち時間を利用し、新幹線乗り場で、水俣高校の学生が描いた書道をメモする。
気に入った漢字が3つ程あったのでメモする。

歩：迷いながら間違いながら その人が正しいんだ

道：自分らしく 生きる！

夢：どこまでも 追い求めるんだ



私の只今の心境は、この3字の通りでジーンときた。20時48分の電車で新八代駅に向かう。新八代駅には21時52分到着。ホテルには22時5分到着。昨日用意したカップラーメンそしてビールで夕食とする。本日の営業キロは、40.4km、万歩計は80,630歩だった。迷走また迷走したが、歩き鉄ならではの醍醐味を味わえ、大変な環境の中にも面白いメイクドラマを肌身で強く感じる充実した一日であった。

